広報
さめがわ
昭和50年
12月号
No. 265
編集兼発行
鮫川村総務課
塙町 佐藤印刷所



文化祭の「目で見る村政の会」盛況

今年の文化祭は開始以来28回目ということで、メーンテーマも「ひらけゆくふるさとの展望」とされ、村の歩みと未来にかける夢を描くことに重点がおかれました。

ＮＨＫも復活した昔なつかしいのど自慢などを取材して放映したが、ＦＴＶは特集番組で国際婦人年の今年、16年も前から続けられた「お母さんお嫁さんに感謝する会」を全国でも珍らしい行事と紹介しました。

写真は村政の歩みをビデオテープの放映でたのしむ若い人たち。

- ⊙ １日　交通事故ゼロ、歩行者優先の日
- ⊙ ５日　交通事故相談日　（白河地方行政連絡室）TEL 白河 ② 1550
- ⊙ 年末年始の交通事故防止運動実施中
- ⊙ 第３日曜日は『家庭の日』

今月の人口

（12月１日 現在）

人　口	6,007	（＋７）
男	3,011	（＋４）
女	2,996	（＋３）
世　帯	1,173	（＋２）

旧軍人恩給法の一部が改正されました

昭和五〇年一一月七日付で恩給法の一部が改正されたので、該当されると思われる方は役場住民課に申出て請求手続きをとって下さい。

Ⅰ　一時恩給の支給範囲拡大

従前の支給要件は引き続く実在職年数が三年～七年未満で、下士官勤務期間が六ケ月以上必要であったものが、今回の改正で下士官勤務の要件がなくなりました。

従って三年以上の軍歴を有する方は次の資料を準備して手続きをとって下さい。

㈠軍隊手帳　㈡所属部隊長の証明履歴書　㈢辞令　㈣引揚、復員証明書　㈤適任証書　㈥日誌、通信文　㈦海軍の場合は携帯履歴表　㈧航空又は戦車勤務に従事した方は勤務部隊名、基地名、勤務期間月別の塔乗時間、塔乗機種等出来るだけ詳しく調べて下さい。

なお海軍の場合は、陸軍と異って在営年数計算は次の表によります。

入団した年月	志願兵・徴兵の別	在営年数
大正12年までに入団したもの	徴兵	4年
大正13年から昭和4年まで入団	徴兵	3年
昭和5年以降に入団したものでその年の6月に入団したもの	徴兵	3年
昭和2年までに入団したもの	志願兵	6年

Ⅱ　一時扶助料も改正されました

既に亡くなられている旧軍人で、実在職年数三～七年未満の期間があった方の妻子に支給される一時扶助料についても一時恩給に準じて請求手続きをして下さい。

おめでた

一一月

中沢　矢吹　好枝　父矢吹勝美
落合　我妻　博文　父我妻文夫
西野沢　芳賀久美子　父芳賀健一
青生野　岡部　重美　父岡部重勝
青生野　武藤　玄由　父武藤　明
鍛治平　芳賀　浩二　父芳賀栄良
前折戸　霜田　知子　父霜田幸己
草牛　斎藤　淳子　父斎藤義男

おくやみ

一一月　　年令　世帯主

馬場　鈴木　サノ　82　鈴木重行
上　高坂源一郎　67　高坂盛栄
蔵ノ草　矢吹　春義　61　矢吹敬事
新宿　舟木　嘉一　75　舟木友嘉

おたよりの声（8）

喧騒にすぎた全国大会の意義

村長　石田卯子八

公労協のいわゆるスト権ストが行われている一二月一日から全国の町村長を構成員としている各種団体や機関の大会総会などが、相次いで東京都に開催されました。

これらの大会や総会は毎年恒例のことですが、政府予算の編成を前にして、圧力団体の機能を発揮しようというねらいを持ったものです。

今年の中心的なテーマは、地方財政の危機を打開するための諸施策や、景気浮揚をかねた公共事業の大巾実施を要求することにありましたが、これまでの大会等になかった特異な様相が現れたことを特記しなければなりません。

そのひとつは、国鉄などの大規模なストの行われている最中のことですから、出席率が低下するものと考えたところ、予期に反し遠隔の諸県は特にバスを仕立てるなどして、出席率は非常によく、各会場ともあふれるばかりの盛会であったことです。

次に市町村長の諸会合はいつも至って静かで、異議や反対意見はあまりなく、型の如く終るのが普通なのですが、今年の場合はどの会場も野次や怒号が飛び喧騒を極めたことです。

私が出席した二日午前の全国治水砂防促進大会は、熱気に包まれてはいたが、さほどの騒々しさはなく終りましたが、午後九段会館で開かれた全国過疎地域対策促進連盟総会ではそれが爆発的に起り社会党代表国会議員の祝辞は野次にかき消されてほとんど聞こえない状態でした。

三日午前、内幸町のイイノホールで開かれた全国山村振興連盟臨時総会は、私もヒナ壇に居て決議案の朗読などをやりましたが、これも参会者は一千人と算えられる盛況でした。

この大会では社会党代表の国会議員が少しおくれて会場に姿を見せた途端に野次が起り、あいさつは全然聞きとれず会場はかってない喧騒の渦にまきこまれ、司会者から数回注意したものの何の効果もありませんでした。続いて公明党代表にも野次は多く、自民党に対しても「マスコミを上手に使へ」などの声がありました。

これらの事実をどう解釈すべきかでありますが、これはスト権を獲得するためには多数国民の足を長期間奪っても、法律違反をしても強行するというストのやり方に対する国民の怒りを代表したものではなかったかと思うのであります。

またその反面、これ程の大規模且つ長期にわたる、しかも違法なりとする集団の実力行使に対して国民の迷惑を排除できなかった政治の弱さに対する怒りでもあったことを考え、何とも割り切れぬ思いにみたされたのであります。

一月は
国民年金保険料完納月間です
老後に咲く花～国民年金
わすれず
おくれず完納しましょう



20年ぶりで復活した昔なつかしいのど自慢大会



お母さん、お嫁さんに感謝する会では、特別番組のパン喰い競争…… 村長さんも大ハッスル

第二八回文化祭から

のど自慢大会



音楽には自信たっぷりの高校生２人
…題は心のこり

お母さんお嫁さんに感謝する会



感謝する会では将来村の後継者となる優良赤ちゃんの表彰



あがっちゃって…みんなの顔が見えなかった……



ＦＴＶは２日間にわたって村の各種催しものを取材した

～郷土はいつも美しく～ ゴミや汚物の不法投棄はやめましょう

ゴミなどの廃棄物を、河川や道路敷等に棄てると、廃棄物の処理及び清掃に関する法律で罰せられます。

ゴミの収集区域になっているところでは、収集車が巡回する直前に、散乱しないよう袋や箱に入れ整然とおいて下さい。

区域外の場合は、安全な方法で燃やすか、自然環境保全の上から支障のない自分の山林などに穴を堀り埋めて下さい。お互いに一寸した注意で私たちの環境はいつもきれいに美しくなるものです。

燃えないゴミの収集を再会

去る九月一〇日に不燃物ゴミ処理場から火災が発生したため、一時収集を中止していましたが、一二月一五日から逐次収集を行うことになりました。但し一般家庭の不燃物のみで、粗大ゴミや、事業所や工場等の産業廃棄物は絶対に投棄できませんので注意して下さい。

飲酒運転と歩行者の交通事故をなくそう

年末年始の交通事故防止
県民運動実施中！

健康管理コーナー

◇健康なことは幸福であり
◇幸福であることが健康で
◇ある証拠でもある。

飲みすぎ、食べすぎに注意

年末、年始はとかく飲む機会が多くなります。飲みすぎ、食べすぎにならないよう十分注意して下さい。お酒を飲む前に牛乳やチーズ又はパンを一～二きれ位食べておくと悪酔いしないといわれています。

ふとんは軽いほど暖かです

寝たときの寒さを防ぐのは、ふとんの重さではありません。綿と綿の間に空気の層がないと暖かくならないので、ふとんは良質の綿でつくった軽いものが良いとされています。また重いふとんを掛けて寝ると血圧が上るともいわれています。

自分の健康は自分で守りましょう。

私の見たヨーロッパ

昭和五〇年福島県青年海外派遣若人の翼 団員 **森 洋**

私は、去る九月七日から九月二一日までの一五日間にわたり、福島県青年海外派遣事業「若人の翼」の派遣団員として、おもに西ドイツ及びスイスにおいて研修してまいりました。その内容について報告してまいりたいと思います。

(1)羽田～アンカレッジ（アラスカ）

九月七日㈰午後九時三〇分、期待と不安を胸に、アンカレッジ経由フランクフルト（西ドイツ）行きのルフトハンザドイツ航空六五五便DC－一〇機（三四〇人乗りエアバス）は残暑きびしい羽田国際空港を飛び立ちました。

私にとって初めての飛行機は不安でしたが、大型機のせいもあり思ったより快適でした。イヤホーンを約七〇〇円で買えば常時音楽が聞け、眠りたい時は目にマスクをすれば眠れますし、食事などの時以外は機内灯は消されております。

食事はドイツに着くまでの約一八時間に正式な食事が二回、それから軽食が二回、その他ジュースなどはいつでもサービスされますなんといっても食事は機内のせいか、ドイツ風の味のせいかあまりなじめませんでした。

飛行機に乗ること約六時間半、日本時間で九月八日午前四時、現地時間で七日午前一〇時（時差による）どんよりとした雲がたれこめた、そして黒々とした樹海の中アラスカ、アンカレッジ空港に着陸しました。

なんといっても初めての外国の土地であり期待して待ち合室に降りたところ、売店（外国でおみやげなどを買う売店）では商品は免税で、羽田の免税店では一個一二〇円のたばこ「峰」が五八円で買えたのには驚きました。

商品には英語とその下に漢字で「免税品店」とあり、店員二人のうち一人は日本人でした。いかに日本人が多く立ち寄るか、そしてこの地が日本とアメリカ、ヨーロッパの空の道の要所であるかを物語っているようでした。



写真はアンカレッジ空港

成人の感想文を募集します

はたちの若人！　何とよいひびきをもったいかにも若々しい青春をたたえた、すがすがしい感じのする言葉ではありませんか。

「成人の日」それははたちの若人たちが、自分で考え、自己の責任において自由に、法律的行為が出来る大人になったことを心に刻む記念の日です。

はたちの若人の新しい門出を祝福し、明日のふるさとの将来を託すのにふさわしい人々になって欲しいと祈念する祝いの日でもあります。

この日本村では、成人式典と祝賀会を催します。

ついては、はたちの若人の皆様から、成人の感想文をお寄せいただき、当日発表して、より意義深い成人式にしたいと思いますので次により多数ご応募して下さるようお願いします。

記

㈠応募内容　成人に関する内容
㈡期　限　昭和51年1月5日
㈢提出場所　鮫川村公民館
㈣用紙枚数　四〇〇字原稿紙二枚以内

火災シーズンです

みんなで注意しましょう

私達は日常生活の中でまったく思いもかけず、又思っても見なかったいろいろな出来事に出合うことがあるものです。その中の一つに火災があります。「とんでもない我が家にかぎって!!」と思われるでしょうが、全国のどこかで毎日数百件の火災が発生しているのです。

本村内で最近発生した火災の件数、損害額はつぎのようになっています。

四九年発生件数四件
損害額　三九一万七千円
五〇年一二月一日現在三件
損害額　一、三五二万七千円、損害額は前年とくらべ約三・五倍と増加しています。

これから寒くなるにつけ、暖房器具が原因で、火災になる件数が多くなります。家族ぐるみで注意し合い村から火災をなくし、住み良く、明るい郷土を築きましょう。